

【西ノ島町教育委員会】

校務 DX 計画

本町では、国が推進する「GIGA スクール構想（1 人 1 台端末の有効活用による個別最適化された学習の実現）」の実現に向けて、児童・生徒 1 人につき 1 台 iPad を整備した。

教職員においても ICT の活用を進めているが、本町では校務支援システムが導入されていない等、課題が多い。

「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、以下の取組や検討を行い、校務 DX を進める。

1. 校務支援システムの導入

本町には校務支援システムが未導入であり教職員の校務負担が課題と考えている。その解決に向けて、令和 9 年度までに校務支援システムを導入し、負担の軽減を図る。

システム導入にあたっては、他の近隣自治体との共同調達も視野に入れ、教職員の負担軽減の仕組み作りを検討したい。

2. クラウドサービス等の積極的活用

本町の小中学校では全ての教職員及び教育委員会の職員に GoogleWorkSpace を導入し情報共有の円滑化を図っている。

本機能を利用することにより電話で行っていたやり取りをチャットとする等、授業で職員室にいない教職員とのコミュニケーションの円滑化を図っていた。

今後は、スプレッドシートの活用を推進し、更なる校務の効率化を図りたい。

3. 押印の見直し及びペーパーレス化の推進

押印について内規の改正を行う等、ルールの見直しを図る。ペーパーレス化については、校内の職員会議において、会議資料を電子データとして閲覧することにより取組みを進めているところではある。

今後は、教育委員会主催の会議等においても会議資料を電子データで共有することを検討する。